

和歌山県内に在住する 重症心身障害児者生活実態調査

和歌山県全域集計結果

重症心身障害児者等在宅医療等連携体制整備事業 和歌山県内に在住する重症心身障害児者生活実態調査について

1. 調査の目的

和歌山県内に在住の重症心身障害児者及びその介護者の方の生活状況等を把握し、医療・福祉サービスを利用しながら生活する上での課題を把握し、今後の支援の在り方や障害福祉・医療の連携体制整備の基礎資料とする。

2. 調査の概要

和歌山県および「重症心身障害児者等在宅医療等連携体制整備事業」委託事業所との共同調査として和歌山県内全域(伊都・那賀、和歌山市・海草、有田・日高・西牟婁・東牟婁圏域)で調査を実施

(1) 調査対象

平成28年4月1日現在で身体障害者手帳(肢体不自由1級・2級)と療育手帳(A1・A2)を重複して所持し、在宅生活をされている方

(2) 調査時期

平成28年5月中旬～平成28年6月下旬(回答は平成28年4月1日現在の状況を記載)

(3) 調査方法

郵送による質問紙調査

3. 調査実施機関

委託法人

- ・社会福祉法人 和歌山つくし会 (和歌山つくし医療・福祉センター)
- ・社会福祉法人 愛徳園 (愛徳医療福祉センター)
- ・独立行政法人 国立病院機構 (和歌山病院)
- ・社会福祉法人 和歌山県福祉事業団 (南紀医療福祉センター)

4. 回収状況

	伊都・那賀	和歌山市・海草	有田・日高	西・東牟婁	県全体合計
配付数	96	204	71	91	462
有効回答数	48	93	31	38	210
有効回答率	50.0%	45.6%	43.7%	41.8%	45.5%

県全域集計

対象者生活実態調査

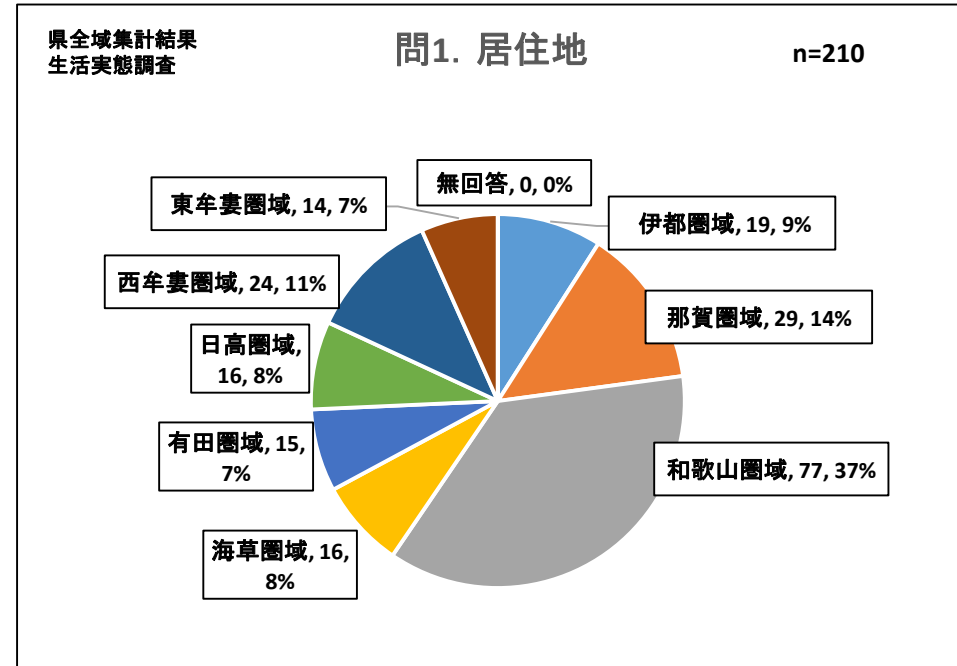
配布数	(有効)回答数	(有効)回答率
462	210	45.5%

問1	居住地	「和歌山圏域」37%で最も多く、次いで「那賀圏域」14%、「西牟婁圏域」11%、「伊都圏域」9%、「海草圏域」「日高圏域」8%、「有田圏域」、「東牟婁圏域」の「順となっている。
問2	性別	「男性」50%、「女性」50%と同率となっている。
問3	年齢	「0～17歳」32.9%、「18～64歳」64.3%、「65歳以上」2.4%。
問4	病名	「脳性麻痺」33.5%と最も多く、次いで「染色体異常」18.2%、「てんかん、発作など」11.3%となっている。他疾患については少数となっている。
問5	障害者手帳と等級	「身体障害者手帳1級」60%、「身体障害者手帳2級」37.6%、「療育手帳A1」77.1%、「療育手帳A2」19.0%、「精神福祉保健手帳あり」1%だった。
問6	障害支援区分(18歳以上)	「区分6」42.6%、「区分5」9.2%、「区分4」4.3%、他は少数となっている。
問7	同居されている家族	「母」90.8%が最も多く、次いで「父」74.4%、「兄弟姉妹」47.3%、「祖母」14.5%となっている。
問8	主介護者	「母」84.3%で8割は母が主である。次いで「兄弟姉妹」が3.3%、「父」が2.4%となっている。
問8	介護者	「母」89.7%、「父」65.7%、「兄弟姉妹」20.1%、「祖母」14.2%、「祖父」5.9%となっており、日常の介護・看護は家族ぐるみで対応されている。
問9	介護年数	「11～20年」23.8%、「1～10年」と「21～30年」20.5%、「31～40年」15.2%、「50年以上」が1.9%となっている。
問10	医療的ケアの代替者	「同居の家族」59.7%が最も多く、次いで「短期入所を利用」28.5%となっている。訪問看護・ホームヘルパーの利用は少数で、代わる人が「いない」との回答が17.4%。
問11	平日の昼間過ごす場所	「障害者通所施設・生活介護など」45.2%、「支援学校」26.4%、「家庭」22.1%となっている。
問12	医療的ケアの内容	「服薬管理」92.2%が最も多く、次いで「吸引」31.3%、「経管栄養」28.9%の順となっている。
問13	サービスの利用状況	「医療機関受診」45.2%が最も多く、次いで「生活介護」37.5%、「放課後等デイサービス」26.2%、「短期入所」23.8%となっている。
問13	サービスの希望状況	「短期入所」29.9%の希望が最も多く、次いで「生活介護」28%、「居宅介護」22.4%、「日中一時支援」19.6%となっている。
問14	公的サービス以外に利用しているサービス	「ファミリーサポートセンター」利用1名。 その他の記載「放課後サークル、個人契約での移動・宿泊利用など」。
問15	どんなシステムがあれば安心か	別紙参照
問16-1	災害対策の有無	「はい」53%、「いいえ」41%。
問16-2-①	避難経路・避難場所の確認	「はい」83%、「いいえ」10%。
問16-2-②	災害時の備蓄品	「薬」82%が最も多く、次いで「衛生材料」69.4%、「食料」68.5%、「注入食」18.9%の順になっている。
	傾向と評価	在宅で過ごす重症心身障害児者の居住地は「和歌山圏域」が最も多く、次いで「那賀圏域」「西牟婁圏域」となっている。年齢は18歳未満が32.9%、18～64歳が64.3%、65歳以上が2.4%となっている。医療的ケアが必要な障害児者の介護・看護は障害程度に関わらず、母親、父親が中心となって、兄弟姉妹や祖母、祖父の協力を得ながら支えられている。主な介護者は、圧倒的に母親が多く8割以上を占めている。また、介護年数については、「11～20年」が最も多く、次いで「21～30年」と長期にわたって家族が支えていることがわかる。主な介護者の代替者は親族が中心で、次いで短期入所、ヘルパー、訪問看護の利用になっているが、代替者が居ないとの回答が2割近くいた。在宅での医療的ケアが必要な内容は「服薬管理」が最も多く、次いで「吸引」、「経管栄養」である。希望するサービス利用は「短期入所」が最も多く、次いで「生活介護」「居宅介護」「日中一時」である。さらに安心できるシステムについての希望も「短期入所」が最も多く、次いで「医療機関」「生活介護」「重症心身障害児施設」となっている。災害時の対策をおこなっている方は半数以上あり、その中で避難経路・避難場所の確認は8割の方ができている。また、災害時の備蓄品として「薬」「衛生材料」「食料」を準備している方が多かった。

問15	どんなシステムがあれば安心か： 短期入所・日中一時	「短期入所事業所・日中一時支援事業所の増加」84.3%が最も多く、次いで「医療機関による短期入所の実施」45.5%、「医療的ケアに対応できる知識・技術の向上」35.1%、「医療的ケアに対応できる設備の充実」30.6%となっている。
問15	どんなシステムがあれば安心か： 訪問看護	「障害児者が利用できる訪問看護事業所の増加」72.1%が最も多く、次いで「早朝や夜間も利用できる訪問看護事業所の増加」57.4%、「利用できる回数の増加」31.1%、「1回あたりの時間数の増加」29.5%、「0歳児も利用できる訪問看護事業所の増加」11.5%となっている。
問15	どんなシステムがあれば安心か： 居宅介護	「休日、祝日も利用できる事業所の増加」66.3%が最も多く、次いで「ヘルパーの知識、技術の向上」62.9%、「早朝、夜間も利用できる事業所の増加」56.2%、「入院中も利用できるヘルパー制度の創設」52.8%、「医療的ケアが実施できるヘルパー事業所の増加」41.6%となっている。
問15	どんなシステムがあれば安心か： 児童発達・放課後デイ	「実施箇所の増加」62.5%が最も多く、次いで「送迎の充実」48.4%、「医療的ケアの充実」46.9%、「利用回数の増加」42.2%、「利用定員の増加」37.5%となっている。
問15	どんなシステムがあれば安心か： 生活介護	「送迎の充実」57.9%が最も多く、次いで「生活介護事業所の増加」51.6%、「医療的ケアに対応できる知識、技術の向上」50.5%、「医療的ケアに対応できる設備の充実」40%、「利用回数の増加」37.9%となっている。
問15	どんなシステムがあれば安心か： 相談支援	「重症心身障害を理解し、相談にのってくれる相談支援事業所の増加」76.5%が最も多く、次いで「日中活動等サービス利用の調整をしてくれる相談支援事業所の増加」55.6%となっている。
問15	どんなシステムがあれば安心か： 医療機関	「重症心身障害児者を診察してくれる専門医の増加」84.5%が最も多く、次いで「気軽に利用できる診療所の増加」50.9%、「訪問診療してくれる医療機関の増加」39.7%、「医療機関でのレスパイト入院」28.4%となっている。
問15	どんなシステムがあれば安心か： 重症心身障害児施設	「施設の新設(造設)」85.1%が最も多く、次いで「生活施設としてのサービス内容の充実」58.5%、「地域からの相談にも応じてほしい」27.7%、「施設から看護師やヘルパーを派遣してほしい」22.3%となっている。
問15	どんなシステムがあれば安心か： 共同生活援助	「低料金で利用できるグループホームの制度化」79.1%が最も多く、次いで「医療的ケアに対応できるグループホームの制度化」61.2%となっている。
問15	どんなシステムがあれば安心か： 回答人数比較	「短期入所・日中一時支援」75.7%が最も多く、次いで「医療機関」65.5%、「生活介護」53.7%、「重症心身障害児施設」53.1%、「居宅介護」50.3%となっている。

問1. お住まいの市町村名

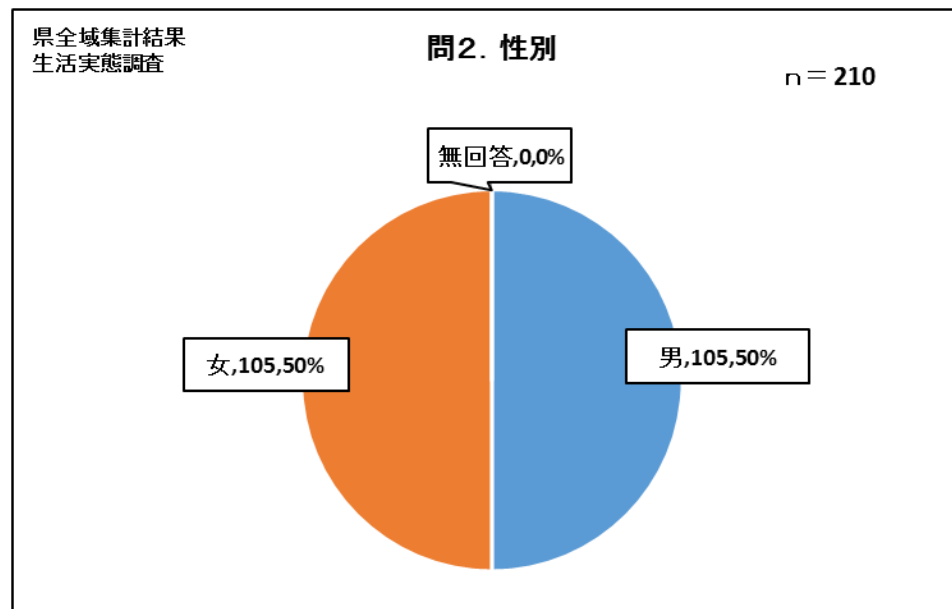
	回答数	%
伊都圏域	19	9.0%
那賀圏域	29	13.8%
和歌山圏域	77	36.7%
海草圏域	16	7.6%
有田圏域	15	7.1%
日高圏域	16	7.6%
西牟婁圏域	24	11.4%
東牟婁圏域	14	6.7%
無回答	0	0.0%
合計人数	210	100.0%



問1	居住地	「和歌山圏域」37%で最も多く、次いで「那賀圏域」14%、「西牟婁圏域」11%、「伊都圏域」9%、「海草」 「日高圏域」 8%、「有田圏域」「東牟婁圏域」の順となっている。
----	-----	--

問2. 本人の性別

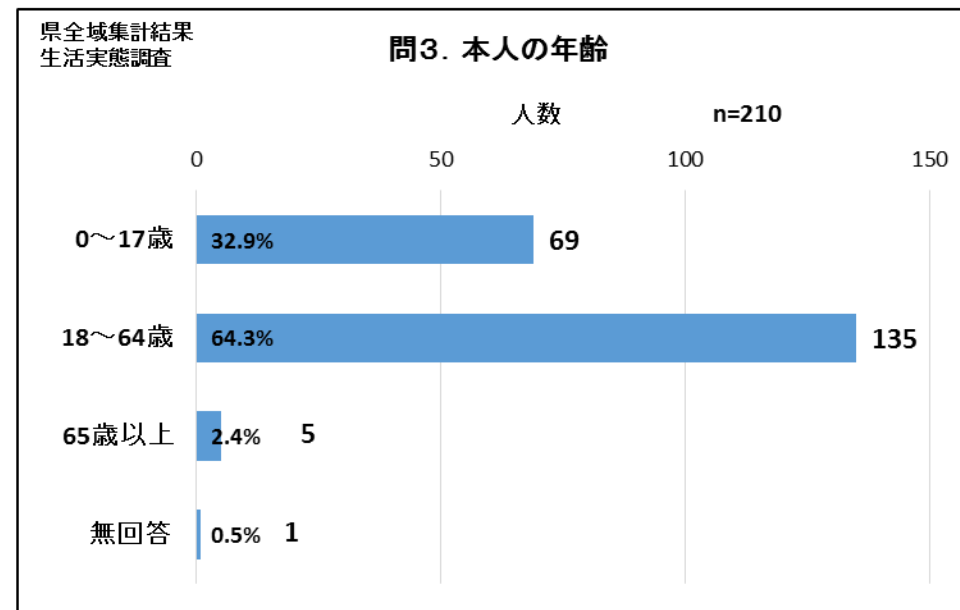
	県全域合計	%
男	105	50%
女	105	50%
無回答	0	0%
合計人数	210	100%



問2	性別	「男性」50%、「女性」50%と同率となっている。
----	----	---------------------------

問3. 本人の年齢

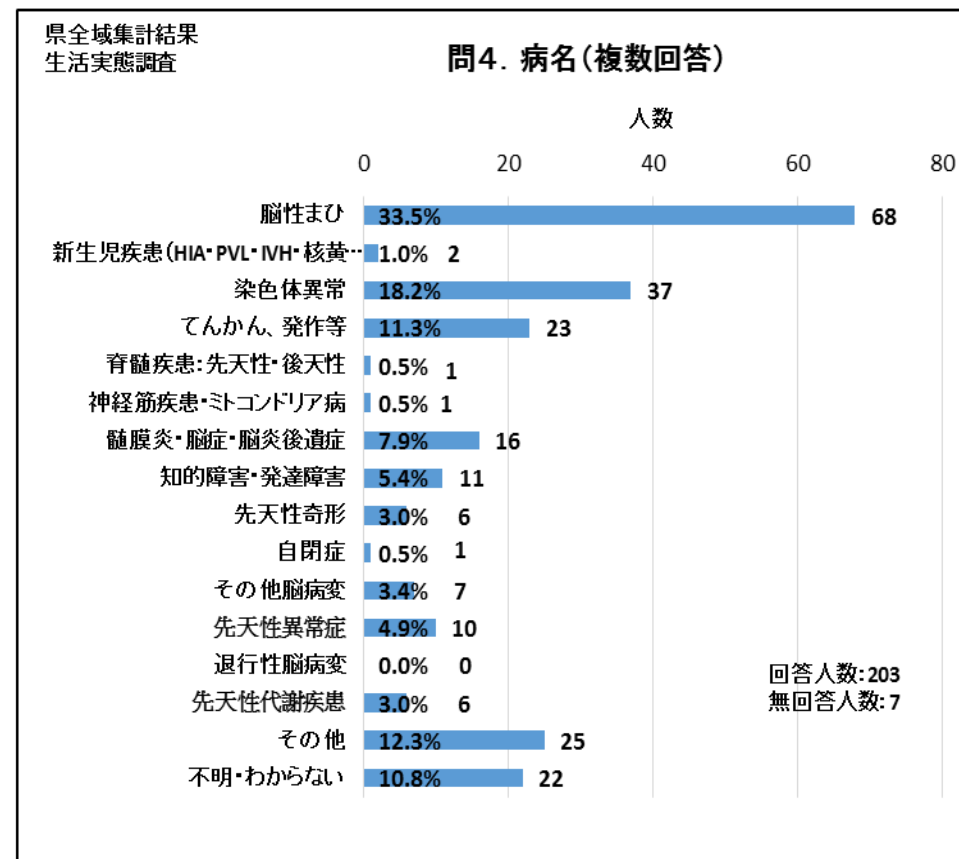
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
0～17歳	3	12	30	5	7	3	6	3	69	32.9%
18～64歳	16	16	44	11	8	12	17	11	135	64.3%
65歳以上	0	1	3	0	0	1	0	0	5	2.4%
無回答	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.5%
合計人数	19	29	77	16	15	16	24	14	210	100.0%



問3	年齢	「0～17歳」32.9%、「18～64歳」64.3%、「65歳以上」2.4%。
----	----	---

問4. 病名(複数回答)

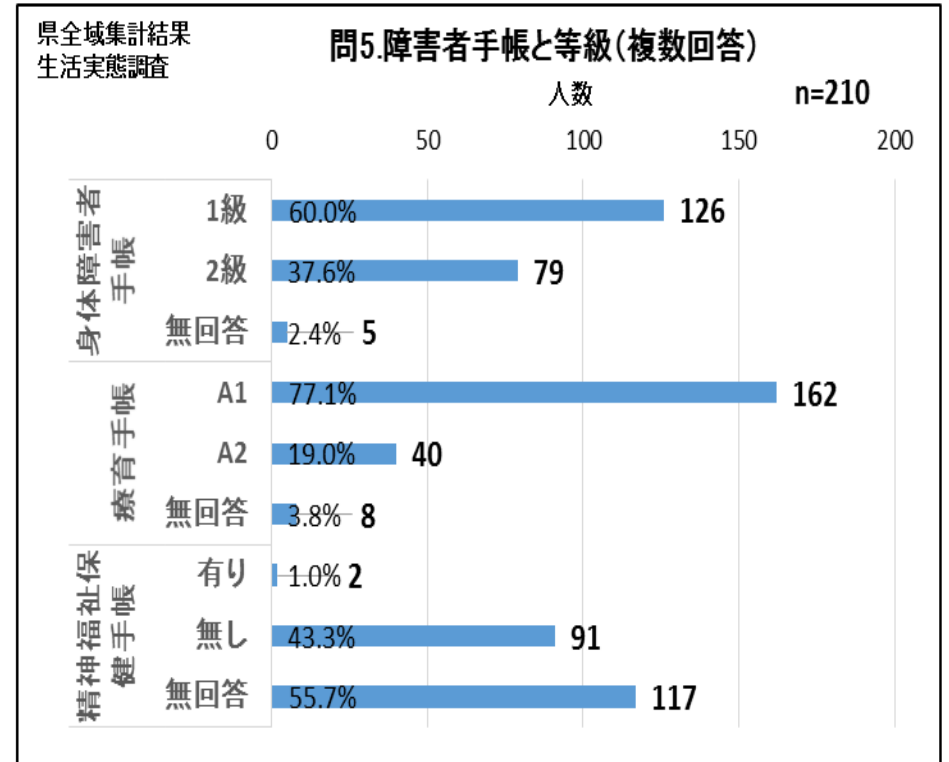
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
脳性まひ	4	7	25	7	3	4	10	8	68	33.5%
新生児疾患(HIA・PVL・IVH・核黄 疸)	0	0	2	0	0	0	0	0	2	1.0%
染色体異常	7	5	7	3	6	4	3	2	37	18.2%
てんかん、発作等	3	4	11	2	0	1	1	1	23	11.3%
脊髄疾患:先天性・後天性	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.5%
神経筋疾患・ミトコンドリア病	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.5%
髄膜炎・脳症・脳炎後遺症	1	5	7	0	1	1	1	0	16	7.9%
知的障害・発達障害	0	2	5	2	2	0	0	0	11	5.4%
先天性奇形	0	0	5	1	0	0	0	0	6	3.0%
自閉症	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.5%
その他脳病変	0	2	1	1	1	0	1	1	7	3.4%
先天性異常症	1	1	7	0	0	1	0	0	10	4.9%
退行性脳病変	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
先天性代謝疾患	0	0	3	1	2	0	0	0	6	3.0%
その他	4	6	4	5	0	1	5	0	25	12.3%
不明・わからない	2	3	7	1	2	3	3	1	22	10.8%
複数回答合計	22	35	85	23	19	15	24	13	236	
回答人数	18	29	74	16	15	14	23	14	203	
無回答人数	1	0	3	0	0	2	1	0	7	
合計人数	19	29	77	16	15	16	24	14	210	



問4	病名	「脳性麻痺」33.5%と最も多く、次いで「染色体異常」18.2%、「てんかん、発作など」11.3%となっている。他疾患については少数となっている。
----	----	---

問5. 取得している障害者手帳と等級(複数回答)

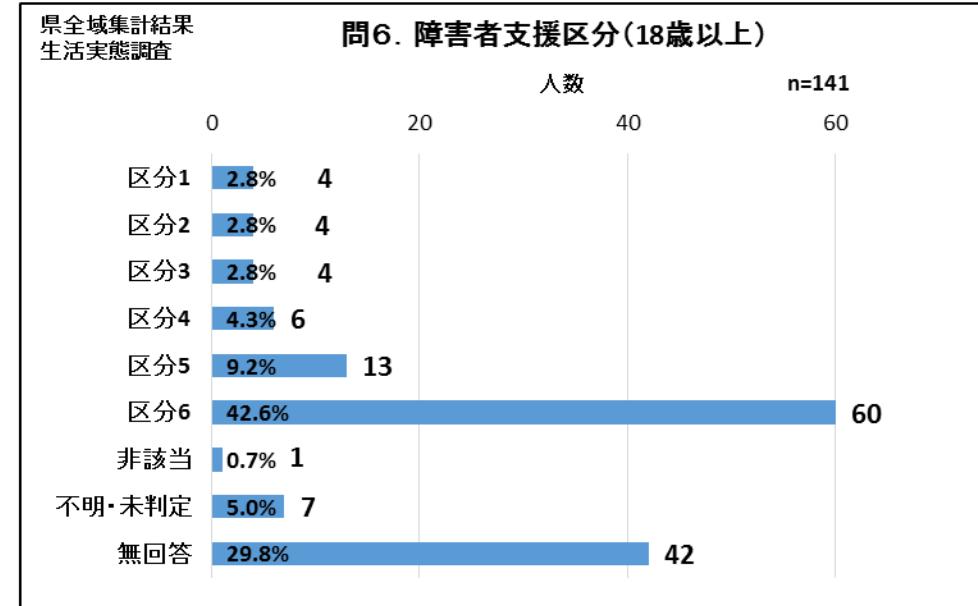
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
身体障害者手帳	1級	12	15	46	11	9	8	17	8	126	60.0%
	2級	5	13	29	5	6	8	7	6	79	37.6%
	無回答	2	1	2	0	0	0	0	0	5	2.4%
療育手帳	A1	15	27	56	12	11	12	18	11	162	77.1%
	A2	4	2	15	4	4	3	6	2	40	19.0%
	無回答	0	0	6	0	0	1	0	1	8	3.8%
精神福祉保健手帳	有り	0	1	0	0	0	1	0	0	2	1.0%
	無し	5	7	46	4	6	5	13	5	91	43.3%
	無回答	14	21	31	12	9	10	11	9	117	55.7%
合計人数		19	29	77	16	15	16	24	14	210	



問5	障害者手帳と等級	「身体障害者手帳1級」60.0%、「身体障害者手帳2級」37.6%、「療育手帳A1」77.1%、「療育手帳A2」19.0%、「精神福祉保健手帳あり」は1%だった。
----	----------	---

問6. 18歳以上の障害支援区分

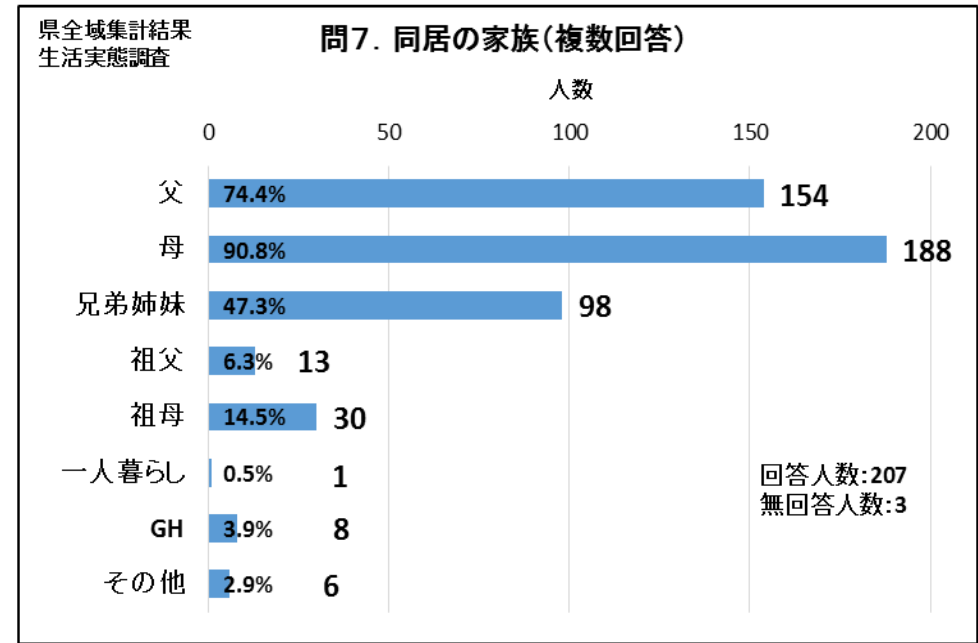
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
区分1	1	1	1	0	0	0	1	0	4	2.8%
区分2	0	1	1	1	0	0	1	0	4	2.8%
区分3	1	0	2	1	0	0	0	0	4	2.8%
区分4	1	1	1	1	0	1	0	1	6	4.3%
区分5	1	2	8	0	0	0	1	1	13	9.2%
区分6	9	7	17	5	4	5	9	4	60	42.6%
非該当	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.7%
不明・未判定	1	0	4	0	0	0	2	0	7	5.0%
無回答	2	5	13	3	4	7	4	4	42	29.8%
合計人数	16	17	47	11	8	13	18	11	141	100.0%



問6	障害支援区分(18歳以上)	「区分6」42.6%、「区分5」9.2%、「区分4」4.3%、他は少数となっている。
----	---------------	--

問7. 同居されてる家族(複数回答)

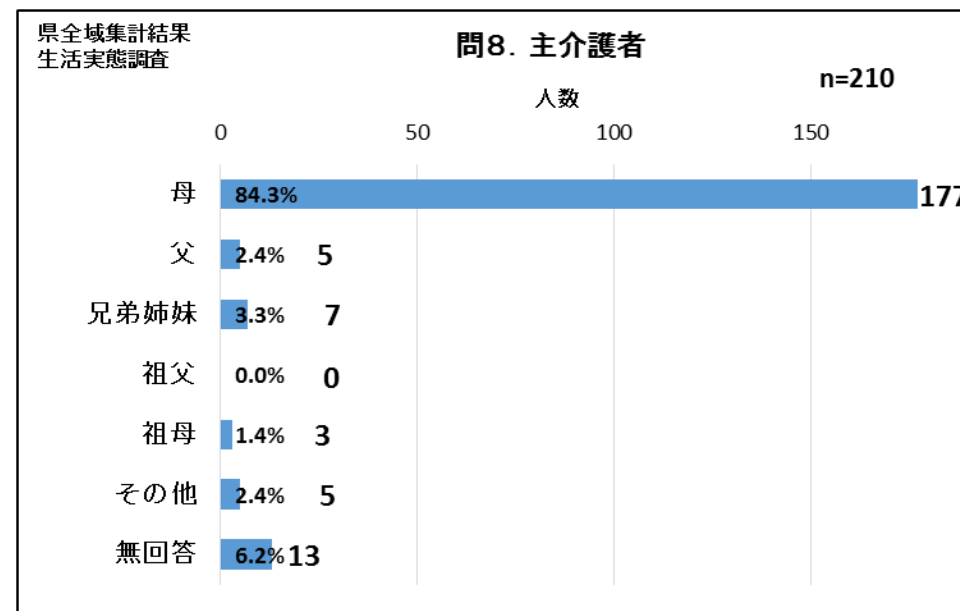
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
父	15	22	57	14	12	8	18	8	154	74.4%
母	18	27	69	15	13	11	22	13	188	90.8%
兄弟姉妹	10	12	39	10	9	6	11	1	98	47.3%
祖父	2	3	2	1	2	1	2	0	13	6.3%
祖母	4	5	8	0	4	4	5	0	30	14.5%
一人暮らし	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.5%
GH	1	1	1	1	0	2	2	0	8	3.9%
その他	0	2	3	0	0	0	1	0	6	2.9%
複数回答合計	50	72	180	41	40	32	61	22	498	
回答人数	19	29	76	16	15	15	24	13	207	
無回答人数	0	0	1	0	0	1	0	1	3	
合計人数	19	29	77	16	15	16	24	14	210	



問7	同居されている家族	「母」90.8%が最も多く、次いで「父」74.4%、「兄弟姉妹」47.3%、「祖母」14.5%となっている。
----	-----------	--

問8. 主介護者(単純回答)

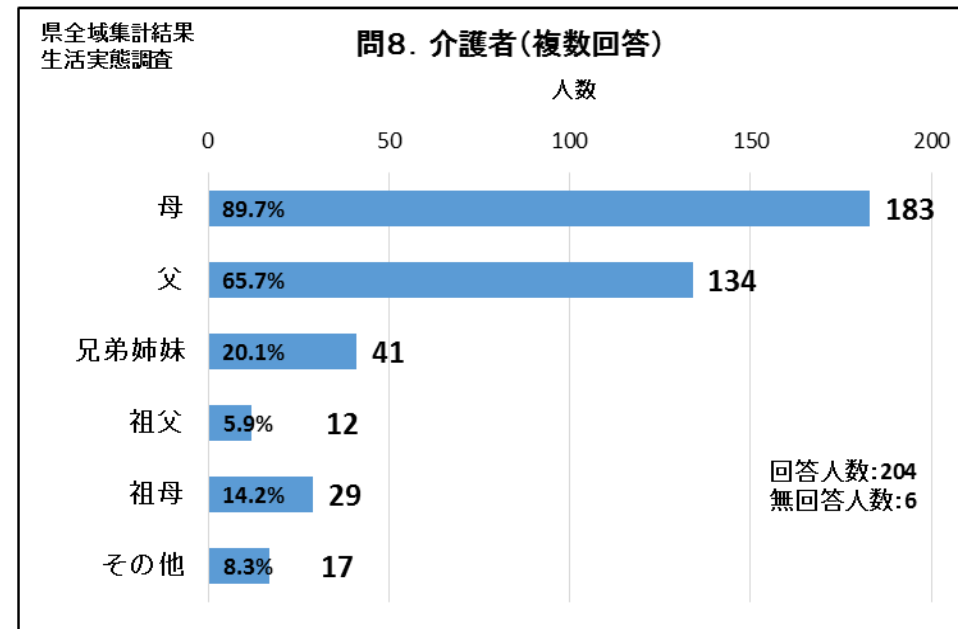
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
母	18	27	62	14	12	11	21	12	177	84.3%
父	0	0	3	1	1	0	0	0	5	2.4%
兄弟姉妹	1	0	3	0	1	2	0	0	7	3.3%
祖父	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
祖母	0	1	1	0	1	0	0	0	3	1.4%
その他	0	1	0	0	0	2	2	0	5	2.4%
無回答	0	0	8	1	0	1	1	2	13	6.2%
合計人数	19	29	77	16	15	16	24	14	210	100.0%



問8	主介護者	「母」が84.3%で、次いで「兄弟姉妹」3.3%、「父」2.4%となっている。
----	------	---

問8. 介護者(複数回答)

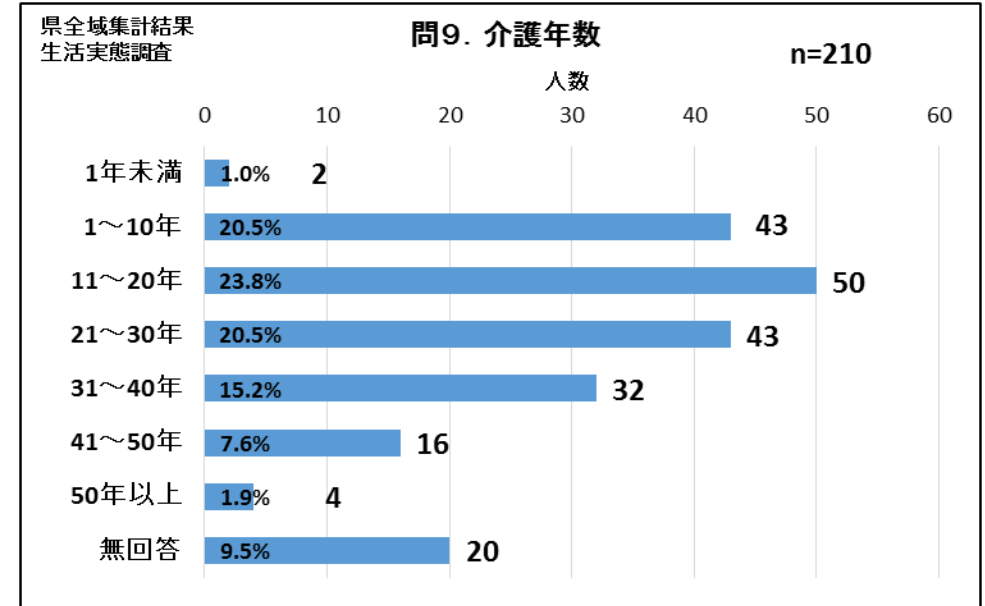
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
母	18	28	66	14	13	11	21	12	183	89.7%
父	14	18	51	12	9	7	16	7	134	65.7%
兄弟姉妹	6	5	16	4	3	3	3	1	41	20.1%
祖父	1	1	5	2	2	0	0	1	12	5.9%
祖母	2	4	9	2	5	3	3	1	29	14.2%
その他	0	2	6	2	0	3	4	0	17	8.3%
複数回答合計	41	58	153	36	32	27	47	22	416	
回答人数	19	29	75	16	15	15	23	12	204	
無回答人数	0	0	2	0	0	1	1	2	6	
合計人数	19	29	77	16	15	16	24	14	210	



問8	介護者	「母」89.7%、「父」65.7%、「兄弟姉妹」20.1%、「祖母」14.2%、「祖父」5.9%となっており、日常の介護・看護は家族ぐるみで対応されている。
----	-----	--

問9. 主介護者が支援するようになってから何年経過していますか

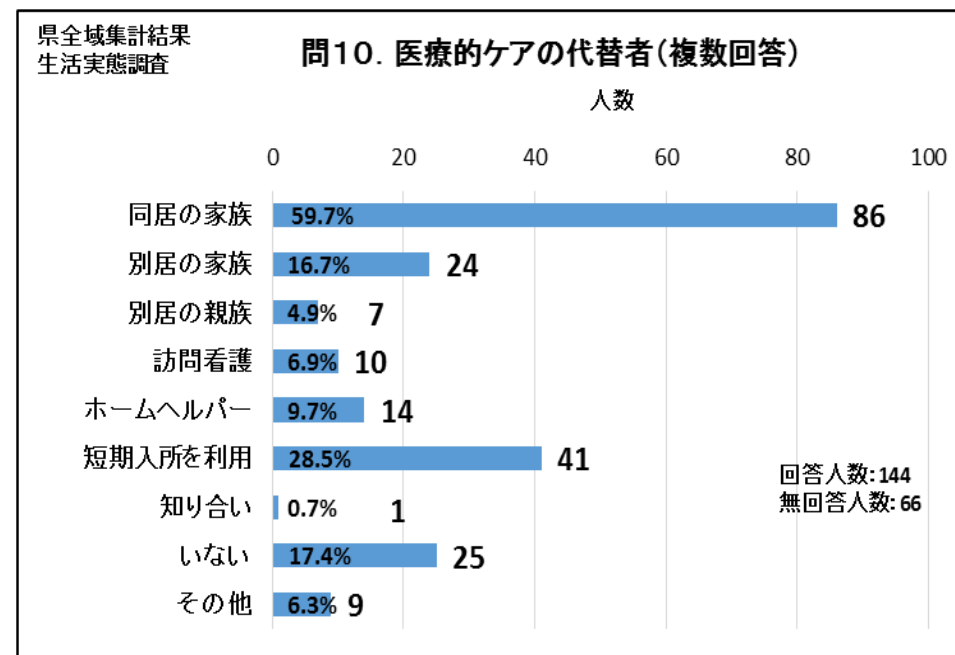
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1年未満	0	0	1	1	0	0	0	0	2	1.0%
1～10年	1	7	20	0	5	2	6	2	43	20.5%
11～20年	3	9	19	6	3	6	2	2	50	23.8%
21～30年	10	8	12	2	2	2	5	2	43	20.5%
31～40年	3	2	11	4	3	1	6	2	32	15.2%
41～50年	1	3	6	2	1	1	2	0	16	7.6%
50年以上	0	0	2	0	0	0	1	1	4	1.9%
無回答	1	0	6	1	1	4	2	5	20	9.5%
合計人数	19	29	77	16	15	16	24	14	210	100.0%



問9	介護年数	「11～20年」23.8%、「1～10年」と「21～30年」20.5%、「31～40年」15.2%、「50年以上」が1.9%となっている。
----	------	---

問10. 医療的ケアを代わりにしてくれる方はいますか(複数回答)

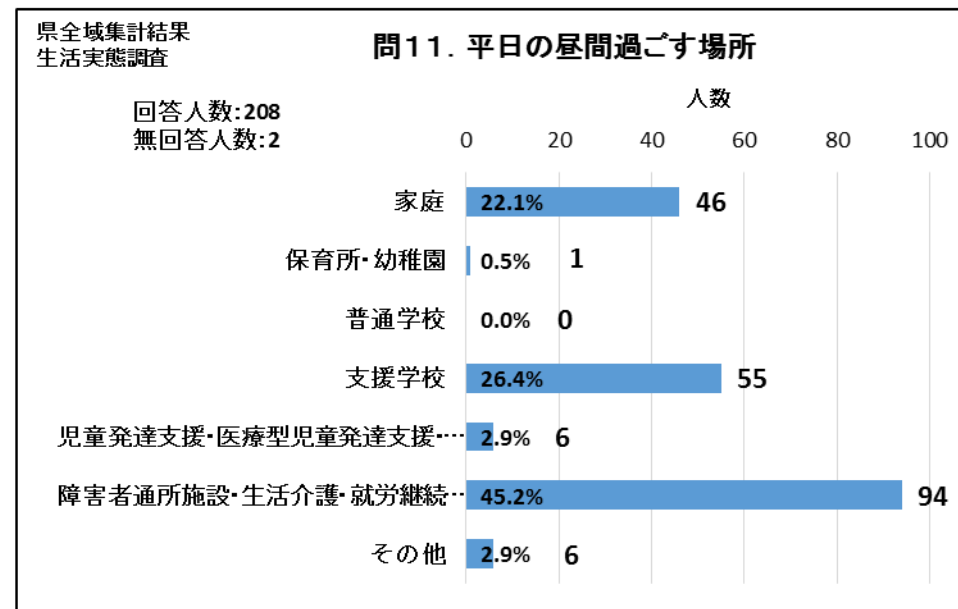
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
同居の家族	10	11	30	5	11	6	10	3	86	59.7%
別居の家族	0	2	7	4	5	1	2	3	24	16.7%
別居の親族	1	1	2	1	0	1	1	0	7	4.9%
訪問看護	1	3	1	0	0	1	3	1	10	6.9%
ホームヘルパー	1	3	3	0	1	3	1	2	14	9.7%
短期入所を利用	4	7	10	4	5	5	3	3	41	28.5%
知り合い	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.7%
いない	2	4	12	2	0	1	4	0	25	17.4%
その他	0	0	4	0	1	3	0	1	9	6.3%
複数回答合計	19	31	69	16	24	21	24	13	217	
回答人数	14	20	49	9	13	12	17	10	144	
無回答人数	5	9	28	7	2	4	7	4	66	
合計人数	19	29	77	16	15	16	24	14	210	



問10	医療的ケアの代替者	「同居の家族」59.7%が最も多く、次いで「短期入所を利用」28.5%となっている。訪問看護・ホームヘルパーの利用は少数で、代わる人が「いない」との回答が17.4%。
-----	-----------	---

問11. ご本人は、平日の昼間は主にどこで過ごされていますか

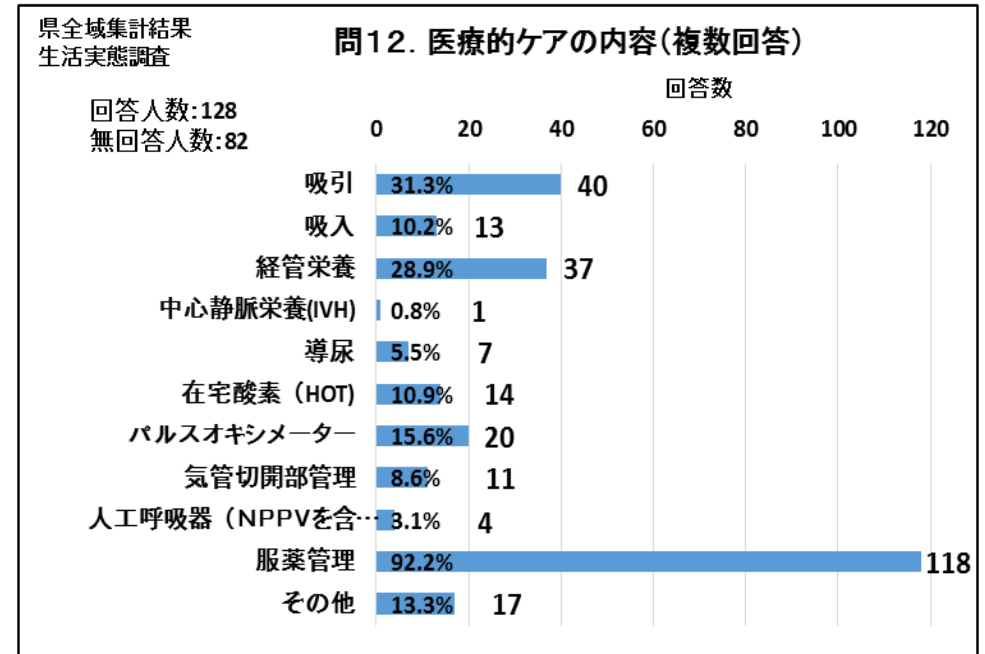
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
家庭	4	7	21	2	1	6	4	1	46	22.1%
保育所・幼稚園	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.5%
普通学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
支援学校	2	12	20	5	5	3	5	3	55	26.4%
児童発達支援・医療型児童発達支援・放課後等デイサービス事業所	0	0	4	0	1	0	1	0	6	2.9%
障害者通所施設・生活介護・就労継続支援等通所施設	13	10	27	8	7	6	13	10	94	45.2%
その他	0	0	3	1	0	1	1	0	6	2.9%
回答人数	19	29	76	16	14	16	24	14	208	
無回答人数	0	0	1	0	1	0	0	0	2	
合計人数	19	29	77	16	15	16	24	14	210	



問11	平日の昼間過ごす場所	「障害者通所施設・生活介護など」45.2%、「支援学校」26.4%、「家庭」22.1%となっている。
-----	------------	--

問12. 日ごろから実施している医療的ケアの内容(複数回答)

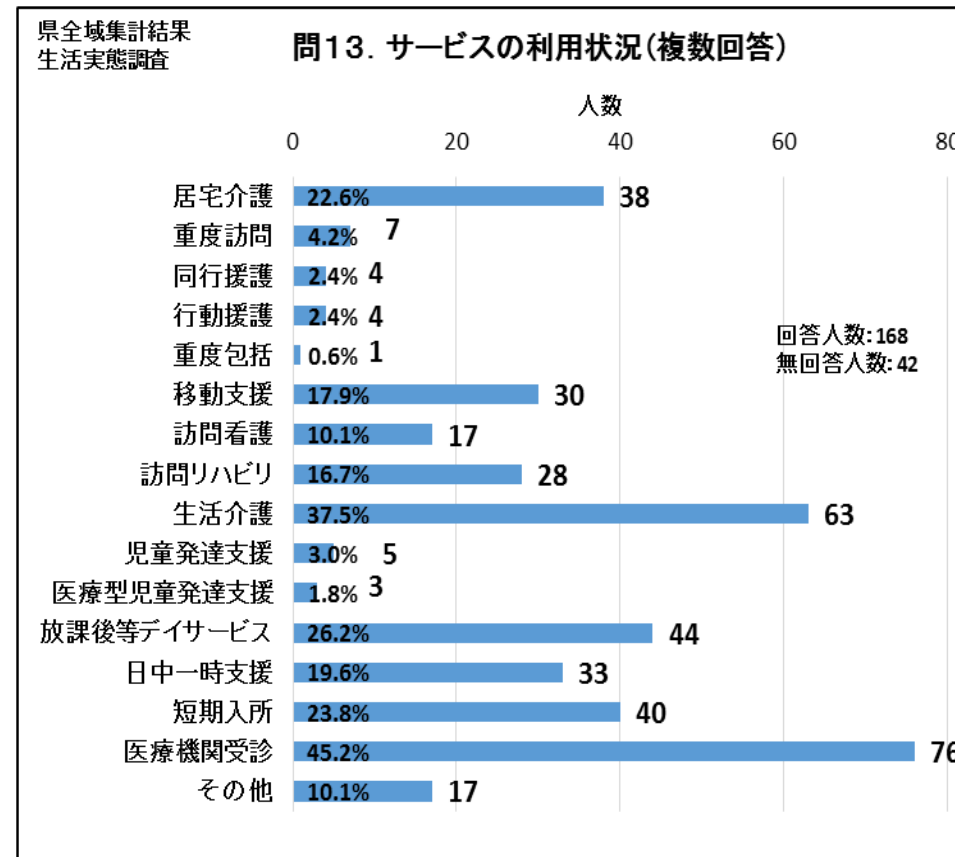
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
吸引	5	8	17	2	4	2	0	2	40	31.3%
吸入	1	4	6	1	1	0	0	0	13	10.2%
経管栄養	3	7	12	3	4	2	4	2	37	28.9%
中心静脈栄養(IVH)	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.8%
導尿	0	3	3	0	1	0	0	0	7	5.5%
在宅酸素(HOT)	0	2	7	1	2	1	0	1	14	10.9%
パルスオキシメーター	3	4	8	1	3	1	0	0	20	15.6%
気管切開部管理	1	4	4	1	0	1	0	0	11	8.6%
人工呼吸器(NPPV を含む)の管理	0	0	2	1	0	1	0	0	4	3.1%
服薬管理	13	17	40	10	8	9	13	8	118	92.2%
その他	1	2	6	4	1	0	2	1	17	13.3%
複数回答合計	27	51	106	24	24	17	19	14	282	
回答人数	14	17	46	10	9	9	15	8	128	
無回答人数数	5	12	31	6	6	7	9	6	82	
合計人数	19	29	77	16	15	16	24	14	210	



問12	医療的ケアの内容	「服薬管理」92.2%が最も多く、次いで「吸引」31.3%、「経管栄養」が28.9%の順となっている。
-----	----------	---

問13. サービスの利用状況(複数回答) ※1ヶ月間に利用した人数

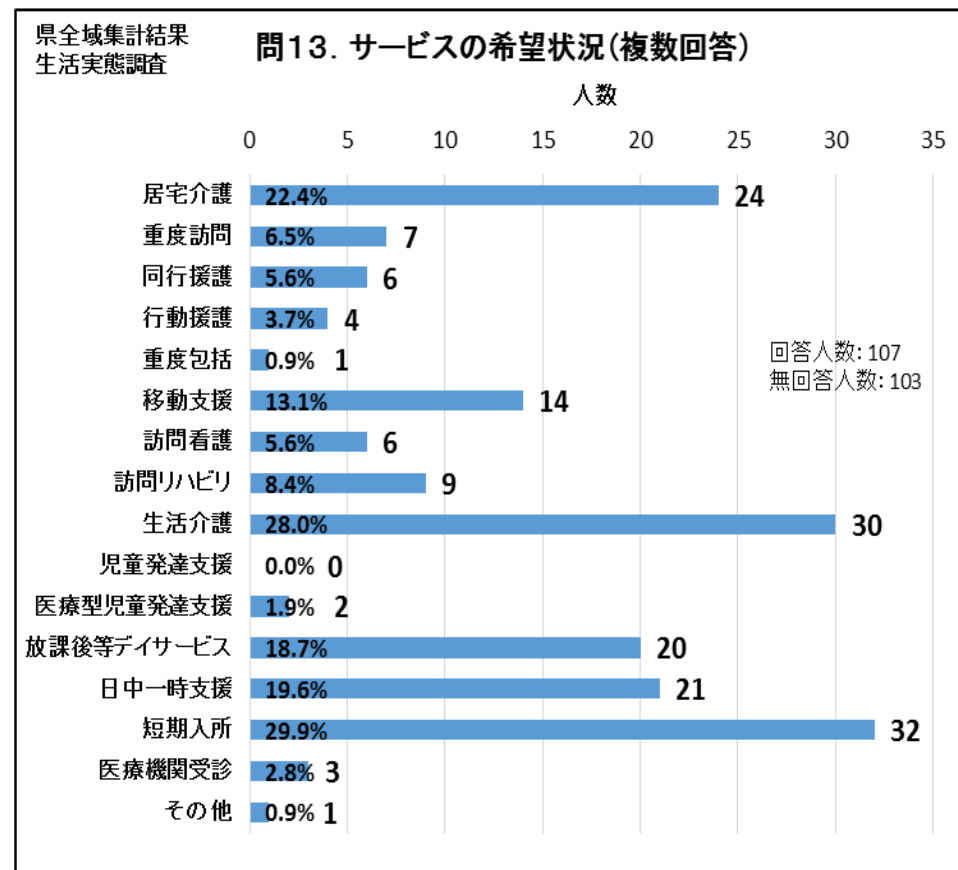
	伊都・那賀	和歌山・海草	有田・日高	西・東牟婁	県全域合計	%
居宅介護	11	17	2	8	38	22.6%
重度訪問	2	3	1	1	7	4.2%
同行援護	0	4	0	0	4	2.4%
行動援護	1	2	0	1	4	2.4%
重度包括	0	1	0	0	1	0.6%
移動支援	6	16	4	4	30	17.9%
訪問看護	4	10	3	0	17	10.1%
訪問リハビリ	5	15	7	1	28	16.7%
生活介護	19	23	9	12	63	37.5%
児童発達支援	0	4	1	0	5	3.0%
医療型児童発達支援	1	0	1	1	3	1.8%
放課後等デイサービス	8	21	7	8	44	26.2%
日中一時支援	7	12	7	7	33	19.6%
短期入所	12	14	8	6	40	23.8%
医療機関受診	22	31	11	12	76	45.2%
その他	6	6	3	2	17	10.1%
複数回答合計	104	179	64	63	410	
回答人数	38	71	28	31	168	
無回答人数	10	22	3	7	42	
合計人数	48	93	31	38	210	



問13	サービスの利用状況	「医療機関受診」45.2%が最も多く、次いで「生活介護」37.5%、「放課後等デイサービス」26.2% 「短期入所」23.8%となっている。
-----	-----------	---

問13. サービスの希望状況(複数回答)※実際利用時間よりも希望時間の多い人数

	伊都・那賀	和歌山・海草	有田・日高	西・東牟婁	県全域合計	%
居宅介護	12	7	2	3	24	22.4%
重度訪問	4	2	1	0	7	6.5%
同行援護	3	2	1	0	6	5.6%
行動援護	1	3	0	0	4	3.7%
重度包括	1	0	0	0	1	0.9%
移動支援	6	7	0	1	14	13.1%
訪問看護	2	2	1	1	6	5.6%
訪問リハビリ	4	4	1	0	9	8.4%
生活介護	13	11	3	3	30	28.0%
児童発達支援	0	0	0	0	0	0.0%
医療型児童発達支援	1	0	1	0	2	1.9%
放課後等デイサービス	5	10	3	2	20	18.7%
日中一時支援	10	8	0	3	21	19.6%
短期入所	12	12	5	3	32	29.9%
医療機関受診	2	1	0	0	3	2.8%
その他	1	0	0	0	1	0.9%
複数回答合計	77	69	18	16	180	
回答人数	35	45	15	12	107	
無回答人数	13	48	16	26	103	
合計人数	48	93	31	38	210	



問13	サービスの希望状況	「短期入所」29.9%の希望が最も多く、次いで「生活介護」28%、「居宅介護」22.4%、「日中一時支援」19.6%となっている。
-----	-----------	---

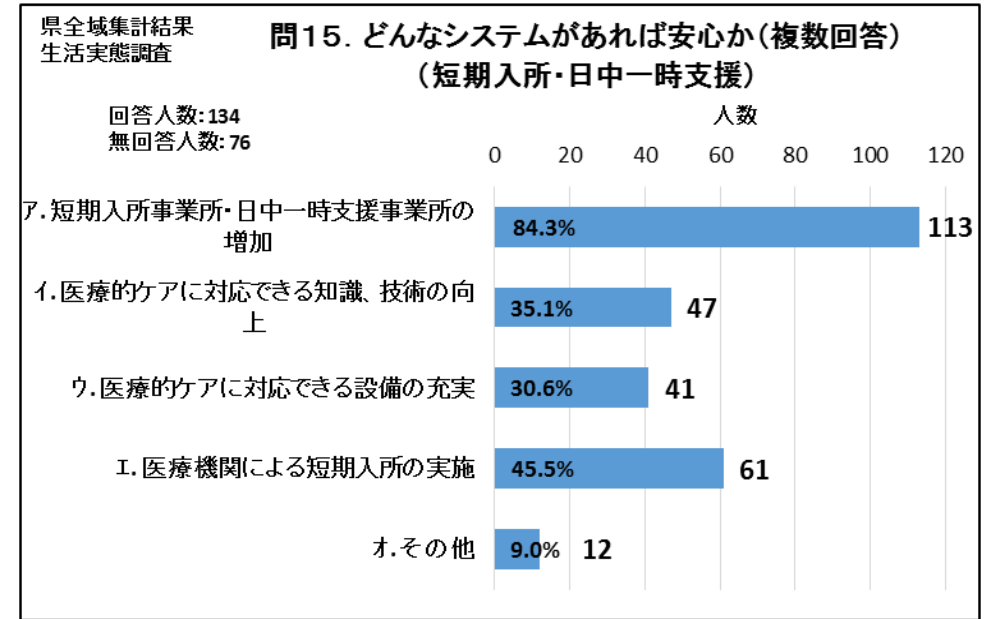
問14. 公的サービス以外に使用しているサービス(複数回答)

	実際の利用状況(1ヶ月あたり)								
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域合計
ファミリーサポートセンター	0	0	1	0	0	0	0	0	1
認可外保育所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	0	1	0	0	1	0	0	4
合計人数	2	0	2	0	0	1	0	0	5

問14	公的サービス以外に利用しているサービス	「ファミリーサポートセンター」利用1名。 その他では、放課後サークル、個人契約での移動・宿泊利用などであった。
-----	---------------------	--

問15. どんなシステムがあれば安心か(複数回答)

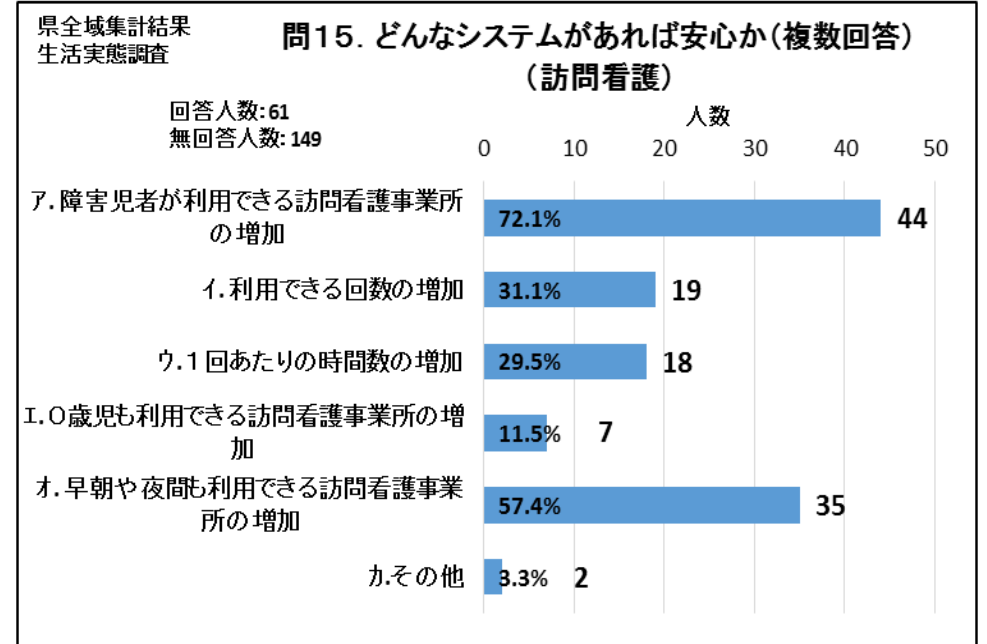
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
短期入所・ 日中一時支援	ア. 短期入所事業所・日中一時支援事業所の増加	13	18	41	10	10	4	9	8	113	84.3%
	イ. 医療的ケアに対応できる知識、技術の向上	7	5	17	2	4	3	7	2	47	35.1%
	ウ. 医療的ケアに対応できる設備の充実	5	4	15	2	4	4	5	2	41	30.6%
	エ. 医療機関による短期入所の実施	8	11	16	5	7	6	5	3	61	45.5%
	オ. その他	0	2	4	1	2	2	1	0	12	9.0%
複数回答合計		33	40	93	20	27	19	27	15	274	
回答人数		15	20	47	10	10	8	16	8	134	
無回答人数		4	9	30	6	5	8	8	6	76	
合計人数		19	29	77	16	15	16	24	14	210	



問15	どんなシステムがあれば安心か: 短期入所・日中一時	「短期入所事業所・日中一時支援事業所の増加」84.3%が最も多く、次いで「医療機関による短期入所の実施」45.5%、「医療的ケアに対応できる知識・技術の向上」35.1%、「医療的ケアに対応できる設備の充実」30.6%となっている。
-----	------------------------------	---

問15. どんなシステムがあれば安心か(複数回答)

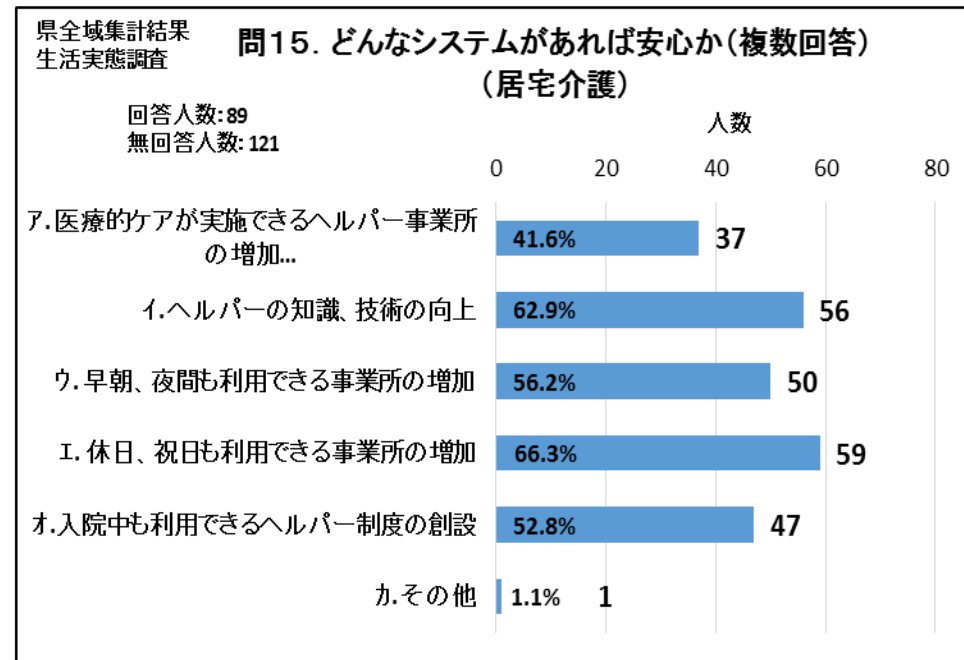
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
訪問看護	ア. 障害児者が利用できる訪問看護事業所の増加	8	7	15	2	5	0	6	1	44	72.1%
	イ. 利用できる回数の増加	2	2	8	3	1	0	2	1	19	31.1%
	ウ. 1回あたりの時間数の増加	1	2	10	1	2	0	1	1	18	29.5%
	エ. 0歳児も利用できる訪問看護事業所の増加	0	2	2	0	1	0	1	1	7	11.5%
	オ. 早朝や夜間も利用できる訪問看護事業所の増加	3	6	13	2	5	0	5	1	35	57.4%
	カ. その他	0	0	1	1	0	0	0	0	2	3.3%
	複数回答合計	14	19	49	9	14	0	15	5	125	
	回答人数	10	9	22	5	6	0	8	1	61	
	無回答人数	9	20	55	11	9	16	16	13	149	
	合計人数	19	29	77	16	15	16	24	14	210	



問15	どんなシステムがあれば安心か: 訪問看護	「障害児者が利用できる訪問看護事業所の増加」72.1%が最も多く、次いで「早朝や夜間も利用できる訪問看護事業所の増加」57.4%、「利用できる回数の増加」31.1%、「1回あたりの時間数の増加」29.5%、「0歳児も利用できる訪問看護事業所の増加」11.5%となっている。
-----	-------------------------	--

問15. どんなシステムがあれば安心か(複数回答)

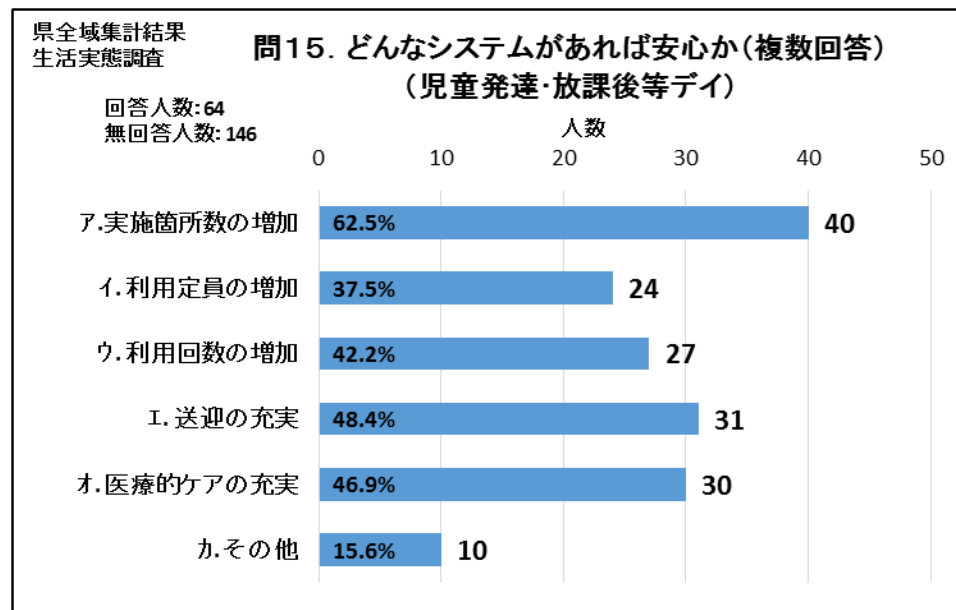
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
居宅介護 (ホームヘルプ)	ア. 医療的ケアが実施できるヘルパー事業所の増加	5	5	13	2	3	1	6	2	37	41.6%
	イ. ヘルパーの知識、技術の向上	7	6	22	4	5	2	6	4	56	62.9%
	ウ. 早朝、夜間も利用できる事業所の増加	4	6	18	5	7	2	6	2	50	56.2%
	エ. 休日、祝日も利用できる事業所の増加	5	9	24	5	6	1	5	4	59	66.3%
	オ. 入院中も利用できるヘルパー制度の創設	6	8	22	2	3	1	3	2	47	52.8%
	カ. その他	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1.1%
複数回答合計		27	34	100	18	24	7	26	14	250	
回答人数		9	14	35	7	7	3	9	5	89	
無回答人数		10	15	42	9	8	13	15	9	121	
合計人数		19	29	77	16	15	16	24	14	210	



問15	どんなシステムがあれば安心か: 居宅介護	「休日、祝日も利用できる事業所の増加」66.3%が最も多く、次いで「ヘルパーの知識、技術の向上」62.9%、「早朝、夜間も利用できる事業所の増加」56.2%、「入院中も利用できるヘルパー制度の創設」52.8%、「医療的ケアが実施できるヘルパー事業所の増加」41.6%となっている。
-----	-------------------------	--

問15. どんなシステムがあれば安心か(複数回答)

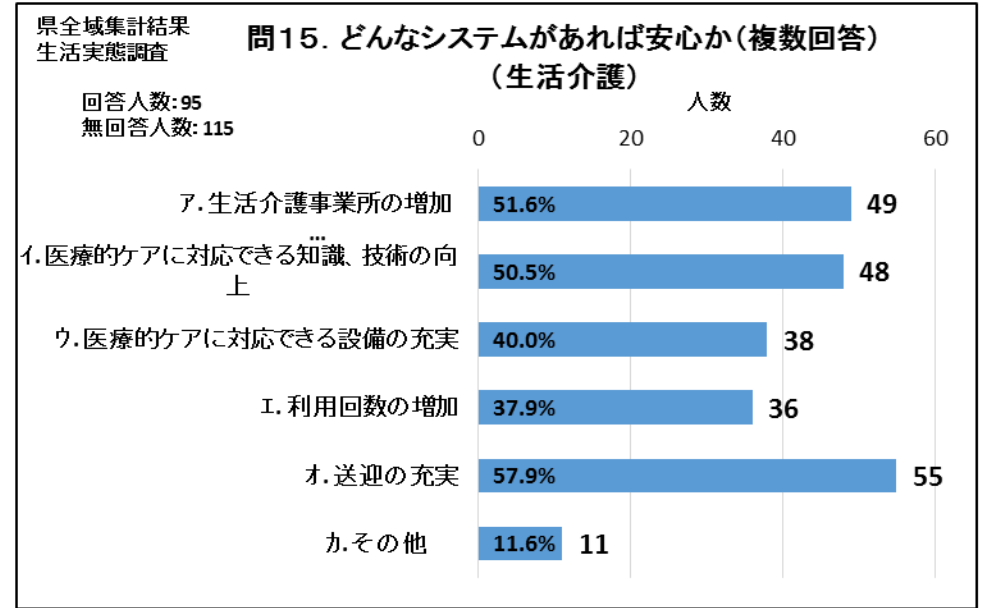
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
児童発達・ 放課後等デイ	ア.実施箇所数の 増加	2	6	22	2	3	2	2	1	40	62.5%
	イ. 利用定員の増加	1	5	11	1	3	1	2	0	24	37.5%
	ウ. 利用回数の増加	2	6	9	2	2	2	2	2	27	42.2%
	エ. 送迎の充実	2	7	11	3	3	1	3	1	31	48.4%
	オ. 医療的ケアの充実	2	3	12	2	3	2	5	1	30	46.9%
	カ. その他	0	3	4	0	2	0	0	1	10	15.6%
複数回答合計		9	30	69	10	16	8	14	6	162	
回答人数		4	11	27	4	6	3	6	3	64	
無回答人数		15	18	50	12	9	13	18	11	146	
合計人数		19	29	77	16	15	16	24	14	210	



問15	どんなシステムがあれば安心か: 児童発達・放課後デイ	「実施箇所数の増加」が62.5%と最も多く、次いで「送迎の充実」48.4%、「医療的ケアの充実」46.9%、「利用回数の増加」42.2%、「利用定員の増加」37.5%となっている。
-----	-------------------------------	--

問15. どんなシステムがあれば安心か(複数回答)

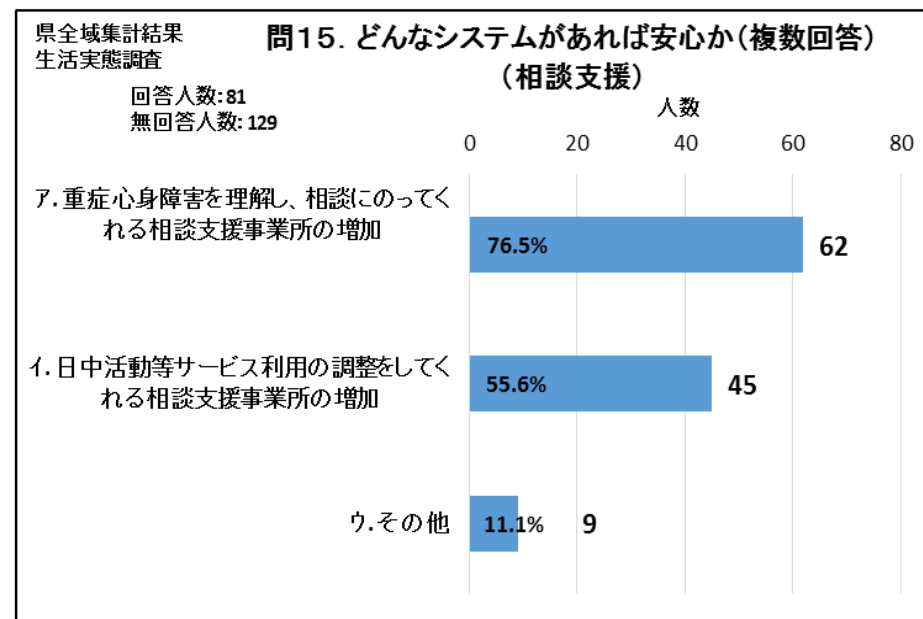
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
生活介護	ア. 生活介護事業所の増加	6	6	21	5	4	2	1	4	49	51.6%
	イ. 医療的ケアに対応できる知識、技術の向上	6	5	19	3	5	3	5	2	48	50.5%
	ウ. 医療的ケアに対応できる設備の充実	5	4	15	2	4	1	5	2	38	40.0%
	エ. 利用回数の増加	5	6	15	3	3	1	1	2	36	37.9%
	オ. 送迎の充実	7	10	17	5	5	5	5	1	55	57.9%
	カ. その他	2	3	2	0	1	1	2	0	11	11.6%
複数回答合計		31	34	89	18	22	13	19	11	237	
回答人数		13	14	30	9	6	8	10	5	95	
無回答人数		6	15	47	7	9	8	14	9	115	
合計人数		19	29	77	16	15	16	24	14	210	



問15	どんなシステムがあれば安心か: 生活介護	「送迎の充実」57.9%が最も多く、次いで「生活介護事業所の増加」51.6%、「医療的ケアに対応できる知識、技術の向上」50.5%、「医療的ケアに対応できる設備の充実」40%、「利用回数の増加」37.9%となっている。
-----	-------------------------	---

問15. どんなシステムがあれば安心か(複数回答)

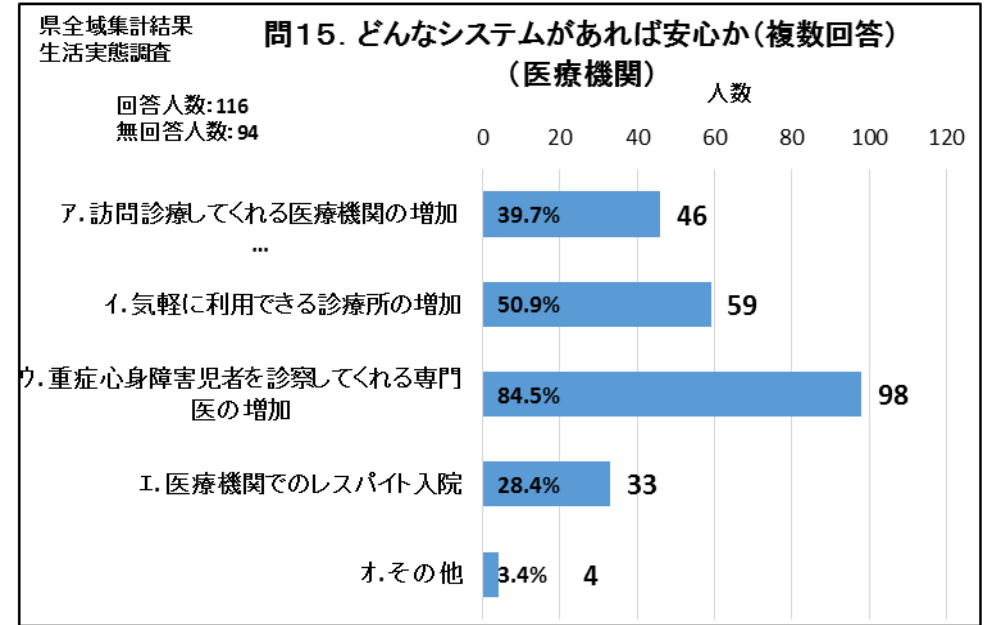
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
相談支援	ア. 重症心身障害を理解し、相談によってくれる相談支援事業所の増加	5	7	27	1	5	6	9	2	62	76.5%
	イ. 日中活動等サービス利用の調整をしてくれる相談支援事業所の増加	5	6	17	4	5	2	5	1	45	55.6%
	ウ. その他	2	1	5	1	0	0	0	0	9	11.1%
複数回答合計		12	14	49	6	10	8	14	3	116	
回答人数		8	11	33	5	6	6	10	2	81	
無回答人数		11	18	44	11	9	10	14	12	129	
合計人数		19	29	77	16	15	16	24	14	210	



問15	どんなシステムがあれば安心か: 相談支援	「重症心身障害を理解し、相談によってくれる相談支援事業所の増加」76.5%が最も多く、次いで「日中活動等サービス利用の調整をしてくれる相談支援事業所の増加」55.6%となっている。
-----	-------------------------	--

問15. どんなシステムがあれば安心か(複数回答)

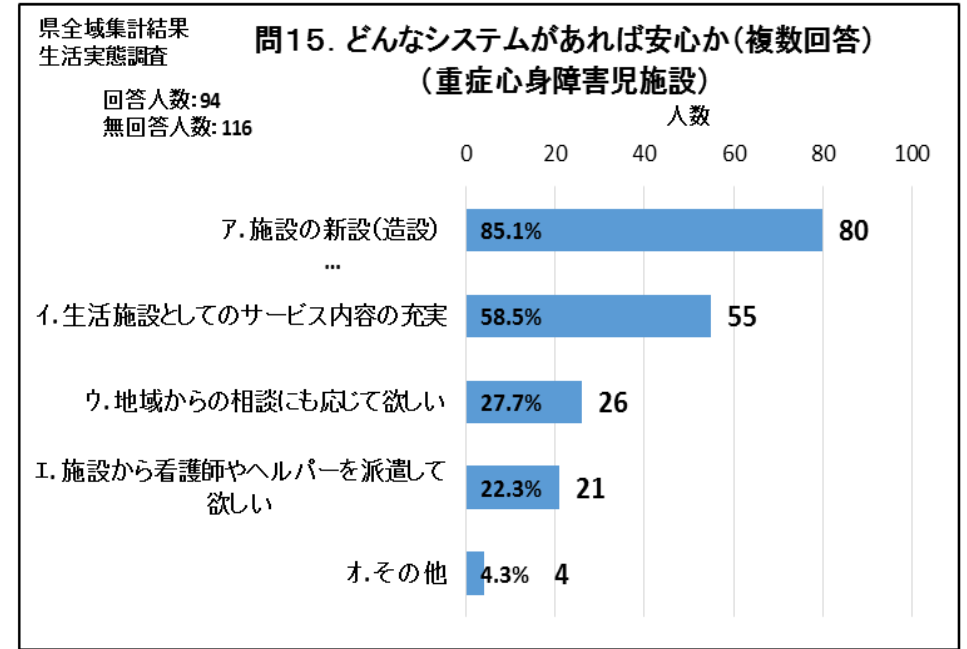
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
医療機関	ア. 訪問診療してくれる医療機関の増加	5	7	19	1	3	4	5	2	46	39.7%
	イ. 気軽に利用できる診療所の増加	6	12	20	4	6	3	6	2	59	50.9%
	ウ. 重症心身障害児者を診察してくれる専門医の増加	12	16	34	4	7	9	11	5	98	84.5%
	エ. 医療機関でのレスパイト入院	4	8	8	3	4	3	1	2	33	28.4%
	オ. その他	0	1	1	1	1	0	0	0	4	3.4%
複数回答合計		27	44	82	13	21	19	23	11	240	
回答人数		15	19	39	7	10	9	11	6	116	
無回答人数		4	10	38	9	5	7	13	8	94	
合計人数		19	29	77	16	15	16	24	14	210	



問15	どんなシステムがあれば安心か: 医療機関	「重症心身障害児者を診察してくれる専門医の増加」84.5%が最も多く、次いで「気軽に利用できる診療所の増加」50.9%、「訪問診療してくれる医療機関の増加」39.7%、「医療機関でのレスパイト入院」28.4%となっている。
-----	-------------------------	---

問15. どんなシステムがあれば安心か(複数回答)

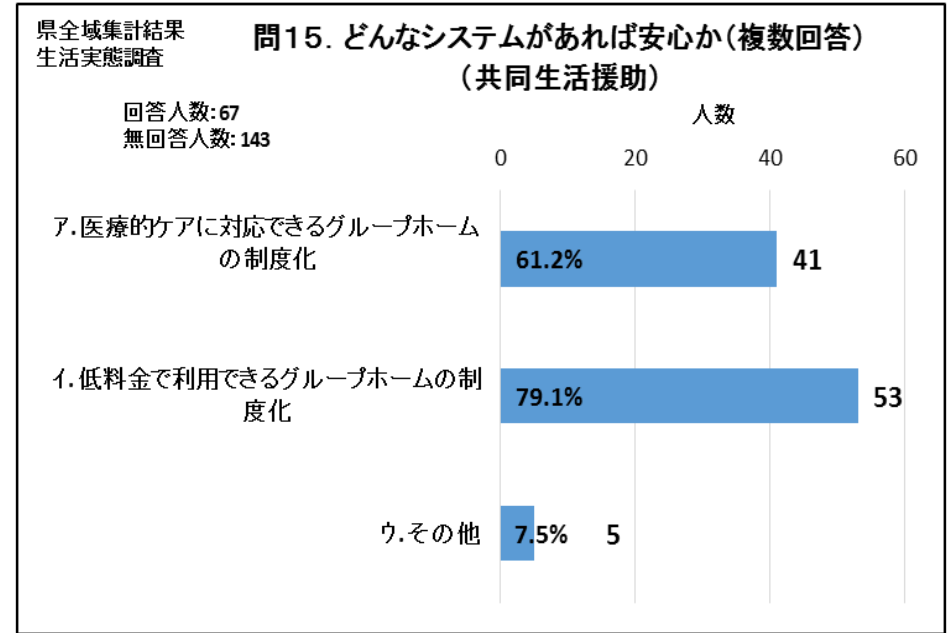
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
重症心身障害児 施設	ア. 施設の新設(造設)	6	15	35	7	5	6	3	3	80	85.1%
	イ. 生活施設としてのサービス内容の充実	4	10	24	5	3	3	5	1	55	58.5%
	ウ. 地域からの相談にも応じて欲しい	2	5	11	2	2	1	2	1	26	27.7%
	エ. 施設から看護師やヘルパーを派遣して欲しい	3	2	6	3	2	2	2	1	21	22.3%
	オ. その他	1	0	1	1	0	0	1	0	4	4.3%
複数回答合計		16	32	77	18	12	12	13	6	186	
回答人数		8	17	40	8	5	6	7	3	94	
無回答人数		11	12	37	8	10	10	17	11	116	
合計人数		19	29	77	16	15	16	24	14	210	



問15	どんなシステムがあれば安心か: 重症心身障害児施設	「施設の新設(造設)」85.1%が最も多く、次いで「生活施設としてのサービス内容の充実」58.5%、「地域からの相談にも応じてほしい」27.7%、「施設から看護師やヘルパーを派遣してほしい」22.3%となっている。
-----	------------------------------	---

問15. どんなシステムがあれば安心か(複数回答)

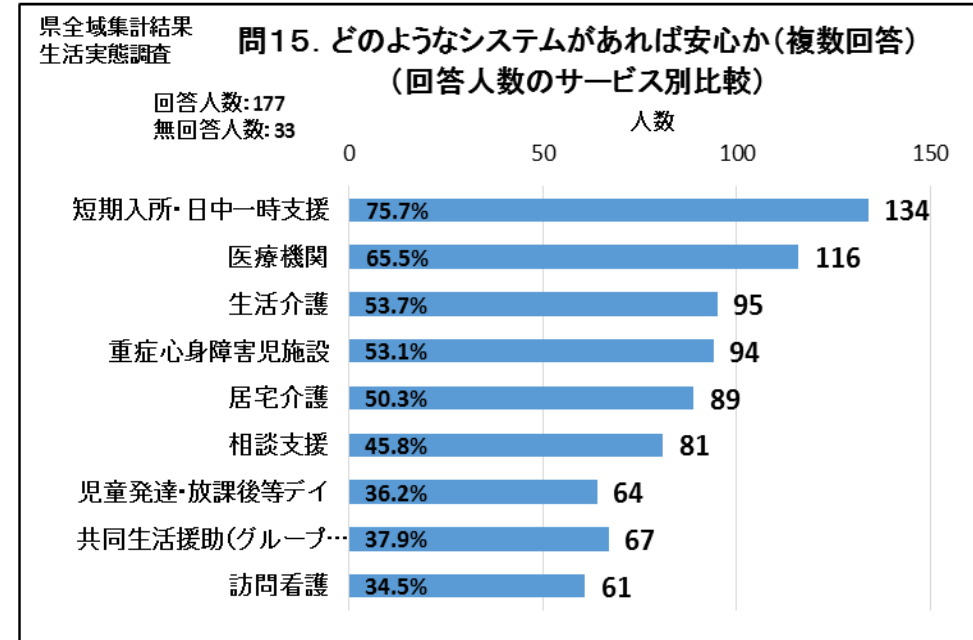
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
共同生活援助 (グループホーム)	ア. 医療的ケアに対応 できるグループホーム の制度化	6	5	14	3	4	1	4	4	41	61.2%
	イ. 低料金で利用でき るグループホームの 制度化	5	12	17	4	4	2	4	5	53	79.1%
	ウ. その他	1	0	1	0	0	0	1	2	5	7.5%
複数回答合計		12	17	32	7	8	3	9	11	99	
回答人数		9	12	20	5	5	2	7	7	67	
無回答人数		10	17	57	11	10	14	17	7	143	
合計人数		19	29	77	16	15	16	24	14	210	



問15	どんなシステムがあれば安心か: 共同生活援助	「低料金で利用できるグループホームの制度化」が79.1%と最も多く、次いで「医療的ケアに対応できるグループホームの制度化」61.2%となっている。
-----	---------------------------	---

問15. どんなシステムがあれば安心か(複数回答)

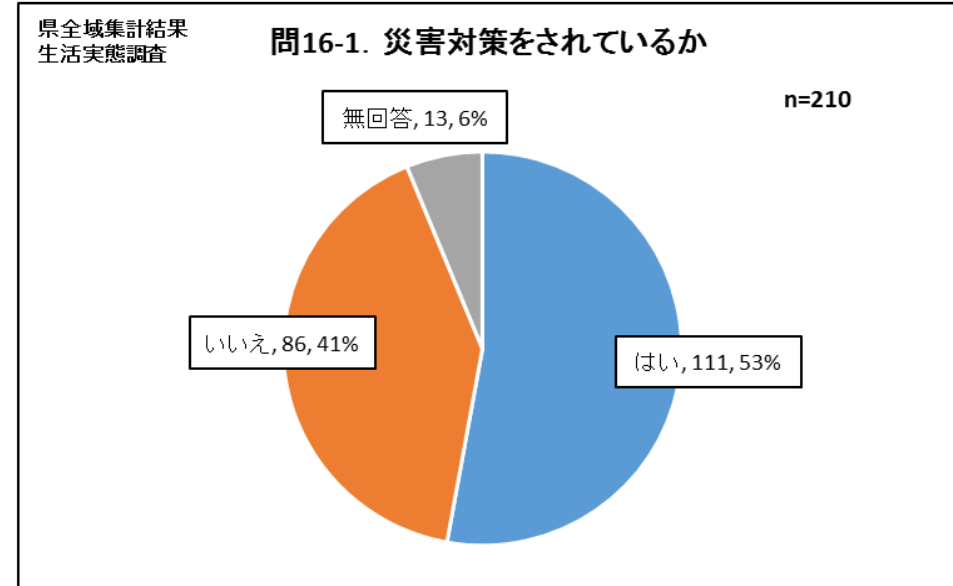
	県全域合計	%
短期入所・日中一時支援	134	75.7%
医療機関	116	65.5%
生活介護	95	53.7%
重症心身障害児施設	94	53.1%
居宅介護	89	50.3%
相談支援	81	45.8%
児童発達・放課後等デイ	64	36.2%
共同生活援助(グループホーム)	67	37.9%
訪問看護	61	34.5%
回答人数	177	
無回答人数	33	
合計人数	210	



問15	どんなシステムがあれば安心か: 回答人数比較	「短期入所・日中一時支援が」75.7%と最も多く、次いで「医療機関」65.5%、「生活介護」53.7%、「重症心身障害児施設」53.1%、「居宅介護」50.3%となっている。
-----	---------------------------	---

問16-1. 災害対策をされていますか

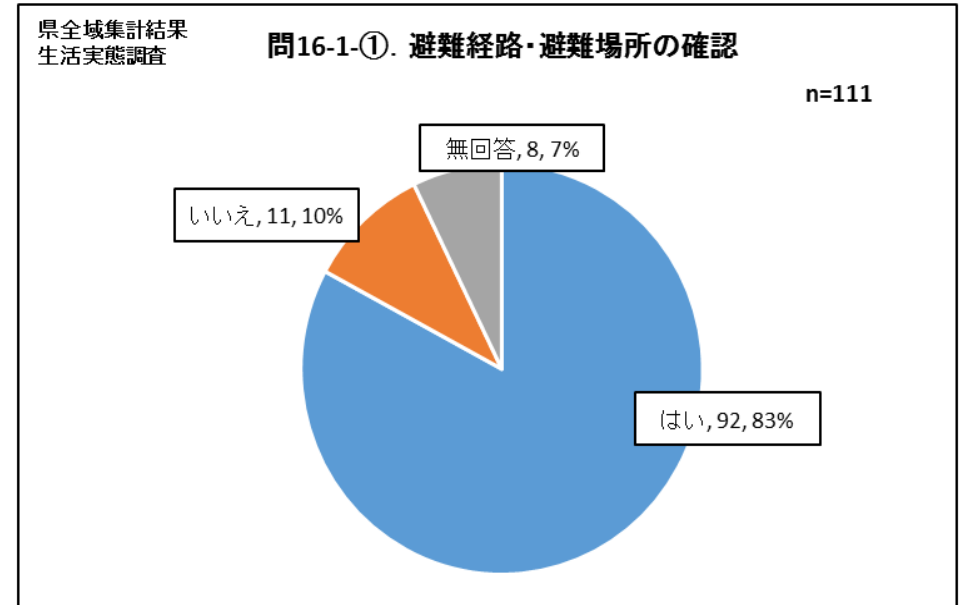
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
はい	9	13	45	10	9	5	13	7	111	52.9%
いいえ	8	15	29	6	5	10	10	3	86	41.0%
無回答	2	1	3	0	1	1	1	4	13	6.2%
合計人数	19	29	77	16	15	16	24	14	210	100.0%



問16-1	災害対策の有無	「はい」53%、「いいえ」41%。
-------	---------	-------------------

問16-2-①. 16-1で「はい」と答えた方 避難経路・避難場所の確認をしていますか

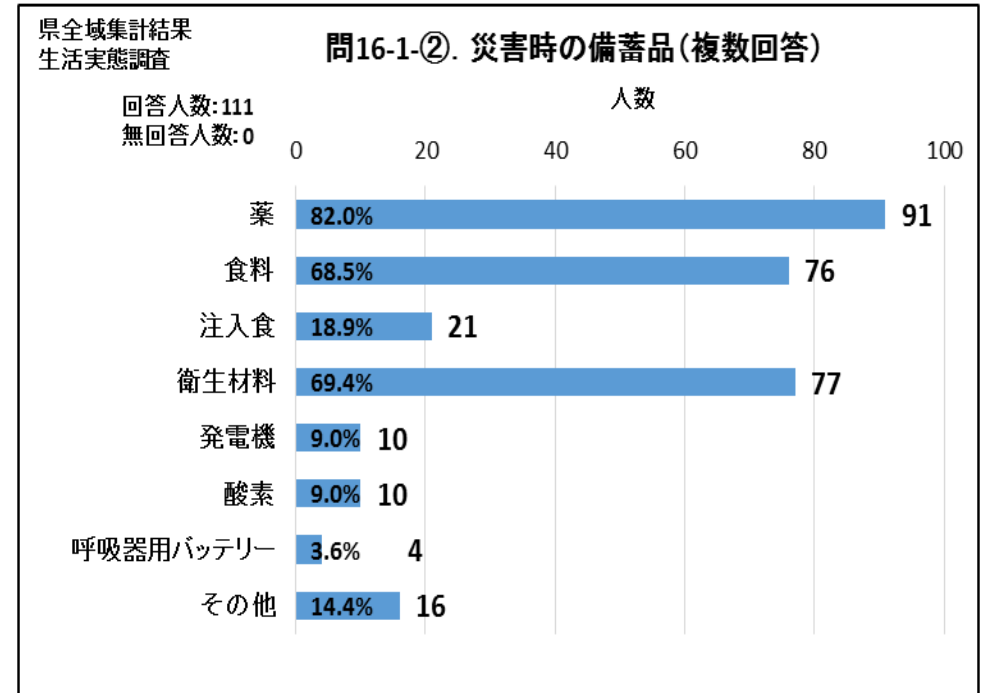
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
はい	9	11	36	9	7	4	10	6	92	82.9%
いいえ	0	1	6	0	1	0	2	1	11	9.9%
無回答	0	1	3	1	1	1	1	0	8	7.2%
合計人数	9	13	45	10	9	5	13	7	111	100.0%



問16-2-①	避難経路・避難場所の確認	「はい」83%、「いいえ」10%。
---------	--------------	-------------------

問16-2-②. 災害に備えて準備しているもの(複数回答)

	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
薬	9	12	35	9	8	3	9	6	91	82.0%
食料	6	9	32	6	6	3	8	6	76	68.5%
注入食	0	4	8	3	3	0	2	1	21	18.9%
衛生材料	6	11	32	7	8	2	6	5	77	69.4%
発電機	1	0	3	3	1	1	1	0	10	9.0%
酸素	0	1	5	1	2	1	0	0	10	9.0%
呼吸器用バッテリー	0	0	3	1	0	0	0	0	4	3.6%
その他	1	1	9	3	0	0	1	1	16	14.4%
複数回答合計	23	38	127	33	28	10	27	19	305	
回答人数	9	13	45	10	9	5	13	7	111	
無回答人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計人数	9	13	45	10	9	5	13	7	111	



問16-2-②	災害時の備蓄品	「薬」82%が最も多く、次いで「衛生材料」69.4%、「食料」68.5%、「注入食」18.9%の順になっている。
---------	---------	--

問17. その他の自由記載内容

1. 不安・心配

項目	件数	内容	件数
災害時	13	避難経路に関すること	3
		避難所に関すること	10
卒業後	3	卒業後の生活の不安	3
支援学校	6	送迎に関すること	4
		医療的ケアに関すること	2
サービス事業所	23	立地条件に関すること	6
		サービス内容に関すること	17
本人の状態	4	意思疎通に関すること	3
		安全面に関すること	1
生活環境	2	住宅に関すること	2
		福祉制度	6
福祉制度	6	手続きに関すること	2
		制度に関すること	4
医療制度	4	緊急時に関すること	2
		医療体制に関すること	2
医療的ケア	6	サービス提供に関すること	6
相談	4	相談する場所に関すること	1
		相談相手に関すること	2
		相談に行きにくい	1
介護者	28	高齢化に関すること	16
		レスパイトに関すること	8
		介護者亡き後の不安	4
その他	3		3

2. 希望・要望

項目	件数	内容	件数
災害時	3	病院への避難を希望	2
		災害時の対応	1
環境整備	3	道路の整備	3
制度	11	地域生活支援に関すること	4
		医療体制に関すること	4
		福祉体制に関すること	3
サービス事業内容の改善	20	サービス内容の改善	19
		自宅以外で過ごす場所	1
サービス事業所の増設	23	短期入所	6
		グループホーム	4
		リハビリ	2
		通園、通所	3
		入所施設	3
		就労事業所	1
		自宅近くの事業所	3
		卒後の生活場所	1
支援学校	2	看護師の確保	1
		医療的ケアに関すること	1
その他	8		8

傾向と評価	<p>在宅で過ごす重症心身障害児者の居住地は「和歌山圏域」が最も多く、次いで「那賀圏域」「西牟婁圏域」となっている。</p> <p>年齢は18歳未満が32.9%、18～64歳が64.3%、65歳以上が2.4%となっている。</p> <p>医療的ケアが必要な障害児者の介護・看護は障害程度に関わらず、母親、父親が中心となって、兄弟姉妹や祖母、祖父の協力を得ながら支えられている。</p> <p>主な介護者は、圧倒的に母親が多く8割以上を占めている。</p> <p>また、介護年数については、「11～20年」が最も多く、次いで「21～30年」と長期にわたって家族が支えていることがわかる。</p> <p>主な介護者の代替者は親族が中心で、次いで短期入所、ヘルパー、訪問看護の利用になっているが、代替者が居ないと回答が2割近くいた。</p> <p>在宅での医療的ケアが必要な内容は「服薬管理」が最も多く、次いで「吸引」、「経管栄養」である。</p> <p>希望するサービス利用は「短期入所」が最も多く、次いで「生活介護」「居宅介護」「日中一時」である。さらに、どんなシステムがあれば安心かの問いについても、「短期入所」が最も多く、次いで「医療機関」「生活介護」「重症心身障害児施設」となっている。</p> <p>災害時の対策をおこなっている方は半数以上あり、その中で避難経路・避難場所の確認は8割の方ができている。また、災害時の備蓄品として「薬」「衛生材料」「食料」を準備している方が多かった。</p>
-------	--